

# 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限 (2008年12月10日設定)	
運用方針	世界の国際機関債等へ投資をすることにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)	新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを主要投資対象とします。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
	豪ドル債マザーファンド	豪ドル建国際機関債、ソブリン債 (国債、政府機関債等) および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組入制限	高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	豪ドル債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月24日 (決算日が休日の場合は翌営業日) に決算を行い、分配対象額の範囲は、利子・配当収入と売買益 (評価益を含みません。) 等の全額とし、基準価額水準等を勘案して分配します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

## 運用報告書 (全体版)

第172期 (決算日	2023年6月26日)
第173期 (決算日	2023年7月24日)
第174期 (決算日	2023年8月24日)
第175期 (決算日	2023年9月25日)
第176期 (決算日	2023年10月24日)
第177期 (決算日	2023年11月24日)

受益者のみなさまへ

平素は「高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第172期から第177期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

**MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉  
サポートデスク 0120-565787  
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

## ◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			参考	指数		債組比	券入率	純資産額
		(分配落)	税込 配分	み 入金		期 騰落	中 率			
		円	円	%		%	%		百万円	
第26作成期	(第148期) 2021年 6月24日	4,152	15	2.1	290.54	1.3	92.3		1,395	
	(第149期) 2021年 7月26日	4,054	15	△2.0	286.93	△1.2	91.9		1,355	
	(第150期) 2021年 8月24日	3,966	15	△1.8	282.32	△1.6	91.7		1,306	
	(第151期) 2021年 9月24日	4,008	15	1.4	284.84	0.9	79.2		1,299	
	(第152期) 2021年10月25日	3,976	15	△0.4	286.94	0.7	92.0		1,276	
	(第153期) 2021年11月24日	3,707	15	△6.4	280.16	△2.4	91.9		1,167	
第27作成期	(第154期) 2021年12月24日	3,793	15	2.7	283.06	1.0	90.7		1,189	
	(第155期) 2022年 1月24日	3,722	15	△1.5	283.61	0.2	90.0		1,167	
	(第156期) 2022年 2月24日	3,791	15	2.3	288.27	1.6	91.6		1,180	
	(第157期) 2022年 3月24日	3,958	15	4.8	276.92	△3.9	92.8		1,230	
	(第158期) 2022年 4月25日	4,185	15	6.1	285.91	3.2	94.6		1,225	
	(第159期) 2022年 5月24日	4,101	15	△1.6	281.13	△1.7	93.6		1,168	
第28作成期	(第160期) 2022年 6月24日	4,104	15	0.4	287.53	2.3	93.4		1,159	
	(第161期) 2022年 7月25日	4,021	15	△1.7	283.08	△1.5	93.0		1,098	
	(第162期) 2022年 8月24日	4,139	15	3.3	289.44	2.2	93.8		1,123	
	(第163期) 2022年 9月26日	4,216	15	2.2	293.93	1.6	93.1		1,110	
	(第164期) 2022年10月24日	4,392	15	4.5	297.71	1.3	93.5		1,151	
	(第165期) 2022年11月24日	4,249	15	△2.9	295.94	△0.6	93.6		1,103	
第29作成期	(第166期) 2022年12月26日	4,090	15	△3.4	291.74	△1.4	92.7		1,055	
	(第167期) 2023年 1月24日	4,105	15	0.7	297.81	2.1	93.0		1,052	
	(第168期) 2023年 2月24日	4,192	15	2.5	300.01	0.7	93.4		1,072	
	(第169期) 2023年 3月24日	4,048	15	△3.1	297.71	△0.8	94.7		1,020	
	(第170期) 2023年 4月24日	4,172	15	3.4	310.40	4.3	94.1		1,043	
	(第171期) 2023年 5月24日	4,240	15	2.0	318.52	2.6	93.6		1,057	
第30作成期	(第172期) 2023年 6月26日	4,415	15	4.5	338.89	6.4	92.9		1,077	
	(第173期) 2023年 7月24日	4,382	15	△0.4	342.26	1.0	93.7		1,051	
	(第174期) 2023年 8月24日	4,341	15	△0.6	341.55	△0.2	94.2		1,030	
	(第175期) 2023年 9月25日	4,423	15	2.2	342.82	0.4	95.2		1,037	
	(第176期) 2023年10月24日	4,298	15	△2.5	337.40	△1.6	94.7		975	
	(第177期) 2023年11月24日	4,439	15	3.6	356.02	5.5	94.1		999	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注4) J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマーゼン・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド)は J.P.Morgan Securities LLC(J P モルガン)が公表している、エマーゼン諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を採用しております。

## ◎ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組 入 率
		円	騰 落 率 %		騰 落 率 %	
第172期	(期 首)2023年 5月24日	4,240	—	318.52	—	93.6
	5月末	4,238	△0.0	320.64	0.7	93.7
	(期 末)2023年 6月26日	4,430	4.5	338.89	6.4	92.9
第173期	(期 首)2023年 6月26日	4,415	—	338.89	—	92.9
	6月末	4,422	0.2	340.44	0.5	94.0
	(期 末)2023年 7月24日	4,397	△0.4	342.26	1.0	93.7
第174期	(期 首)2023年 7月24日	4,382	—	342.26	—	93.7
	7月末	4,408	0.6	340.29	△0.6	94.1
	(期 末)2023年 8月24日	4,356	△0.6	341.55	△0.2	94.2
第175期	(期 首)2023年 8月24日	4,341	—	341.55	—	94.2
	8月末	4,426	2.0	346.51	1.5	94.5
	(期 末)2023年 9月25日	4,438	2.2	342.82	0.4	95.2
第176期	(期 首)2023年 9月25日	4,423	—	342.82	—	95.2
	9月末	4,354	△1.6	338.01	△1.4	94.9
	(期 末)2023年10月24日	4,313	△2.5	337.40	△1.6	94.7
第177期	(期 首)2023年10月24日	4,298	—	337.40	—	94.7
	10月末	4,303	0.1	338.62	0.4	94.6
	(期 末)2023年11月24日	4,454	3.6	356.02	5.5	94.1

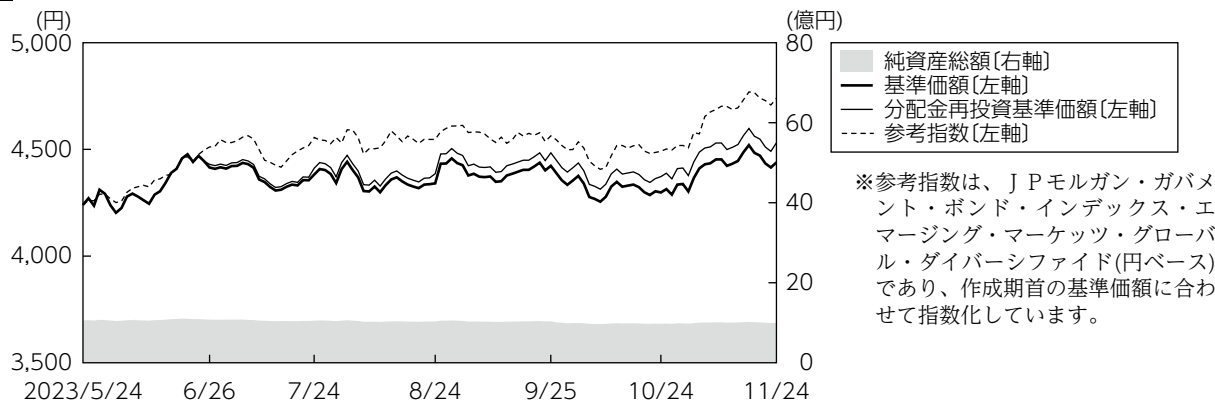
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージェンツ・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

## 運用経過の説明

## ■ 基準価額等の推移



第172期首(2023年 5月24日)：4,240円

第177期末(2023年11月24日)：4,439円(既払分配金90円)

騰落率：6.9%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・メキシコペソ、南アフリカランド、ブラジルリアル、豪ドルが円に対して上昇したこと

## (下落要因)

- ・トルコリラが円に対して下落したこと

## 【組入ファンドの作成対象期間における騰落率】

組入ファンド	騰落率
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	7.6%
豪ドル債マザーファンド	8.6%

## ■ 投資環境

### 債券市場

#### (ブラジル)

当作成期のブラジル長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。作成期首に年率4%台で推移していたインフレ率は6月には年率3%台まで低下したものの、作成期末にかけては年率4%台に上昇しました。インフレ率が中央銀行の目標の上限である4.75%付近で安定してきたことを受けて、中央銀行は8月以降に政策金利を3会合連続で0.50%ずつ引き下げ12.25%としました。長期金利は7月上旬から10月上旬にかけて米国長期金利の動きに連れて上昇したものの、格付機関が財政改革を評価してブラジル国債を格上げしたこともあって、作成期末にかけて低下しました。

#### (メキシコ)

当作成期のメキシコ長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。作成期首に年率6%付近で推移していたインフレ率は作成期末にかけて年率4%台まで低下基調で推移しました。インフレ率が中央銀行の目標（3%プラスマイナス1%）に接近していることを受けて、中央銀行は2023年3月下旬に11.25%とした政策金利をその後、据え置いています。こうした中、長期金利は米国長期金利に連れた動きとなりました。

#### (トルコ)

当作成期のトルコ長期金利は上昇しました。中央銀行は強権的な大統領の下で独特な金融緩和政策を維持してきましたが、中央銀行総裁の交代をきっかけに6月以降、政策金利を8.50%から40.00%まで引き上げました。公式発表のインフレ率は実態のインフレ率よりずっと低いとみられている中、引き続き追加利上げを実施するとの見通しの高まりを受けた金利上昇圧力により長期金利は上昇しました。

#### (南アフリカ)

当作成期の南アフリカ長期金利は低下しました。インフレ率が概ね年率6%台で推移しており、中央銀行の目標レンジ（3~6%）の上限をやや上回っています。こうした中、中央銀行は政策金利を作成期首に引き上げて8.25%とした後は、据え置いています。停電が相次ぐなど経済活動が不安定な中、中央銀行が景気の下支えも考慮して次回の金融政策の変更時には政策金利を引き下げるとみられていることなどから、長期金利は作成期末には11.5%付近まで低下しました。

#### (オーストラリア)

当作成期のオーストラリア長期金利は上昇しました。中央銀行はインフレ率を2025年末までに2~3%に戻すとする目標を掲げる中、9月に退任した前中央銀行総裁は経済下支えのため金融緩和を継続した結果、インフレ率は直近で5%付近となっていることから事実上の更迭とみられています。新総裁はインフレに対処するため慎重ながら引き締め姿勢で臨んでおり、11月に利上げを実施しましたが更なる利上げも予想されています。こうした中、長期金利は上昇基調で推移しました。

**為替市場****(ブラジルレアル)**

当作成期のブラジルレアルは円に対して上昇しました。インフレの伸びが当作成期には概ね年率4%台まで低下しています。中央銀行のインフレ目標の上限(+4.75%)を下回る月もあるなどインフレの鎮静化を受けて、中央銀行は政策金利を12.25%に引き下げました。こうした中、高い実質金利や財政改革への期待感などから、ブラジルレアルは対円で上昇しました。

**(メキシコペソ)**

当作成期のメキシコペソは円に対して上昇しました。インフレ率が6%付近から4%台まで緩やかに低下する中、中央銀行は政策金利を11.25%で据え置いています。メキシコペソの実質金利がプラスとなっていることや隣国である米国経済が好調であることなど買われやすい状況の中、メキシコペソは対円で上昇しました。

**(トルコリラ)**

当作成期のトルコリラは円に対して下落しました。中央銀行は強権的な大統領の下で独特な金融緩和政策を維持してきましたが、新総裁が就任した6月以降、政策金利を8.50%から40.00%まで引き上げました。しかし、公式発表のインフレ率は実態のインフレ率よりずっと低いとみられており、金融政策が引き続き緩和的であることなどから、トルコリラは対円で軟調に推移しました。

**(南アフリカランド)**

当作成期の南アフリカランドは円に対して上昇しました。インフレ率が概ね年率6%台と中央銀行の目標レンジ(3~6%)の上限をやや上回って推移する中、中央銀行は政策金利を作成期首に引き上げて8.25%とした後は、政策金利を据え置いています。東欧や中東における紛争といった地政学的リスクにより金価格が上昇する中、産金国通貨である南アフリカランドは対円で上昇しました。

**(豪ドル)**

当作成期の豪ドルは円に対して上昇しました。インフレの再加速を背景に中央銀行が6月に追加利上げを実施する中、豪ドルは堅調に推移しました。その後、中央銀行が政策金利を据え置いたことや主要な貿易相手国である中国の景気減速懸念を背景に豪ドルは上昇幅を縮小しました。しかし、作成期末にかけてインフレ率の高止まりを受けて中央銀行が利上げを再開したことなどから豪ドルは対円で上昇基調となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

作成期首の運用方針に基づき、新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。両マザーファンドの投資比率合計を高位に維持しました。

当作成期を通じて新興国通貨建国際機関債マザーファンドは概ね80%程度、豪ドル債マザーファンドは概ね20%程度組み入れました。

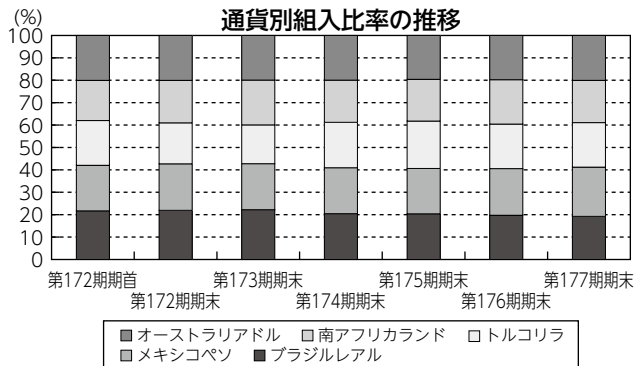
### 【信託財産の状況】

	作成期首	作成期末
外国債券	93.6%	94.1%
経過利息、現金等その他	6.4%	5.9%
組入銘柄数	15	14
デュレーション	1.1年	1.6年
残存年数	1.2年	1.7年
複利最終利回り	22.7%	14.1%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※外国債券、経過利息、現金等その他の組入比率についてはマザーファンドへの投資を通じた数値

※格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付を採用

※デュレーション：投資元本の平均回収期間のことで、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわします。デュレーションが長い(大きい)ほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。金利が低下した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく上昇します。一方、金利が上昇した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく下落します。



※組入債券の評価額合計に対する比率

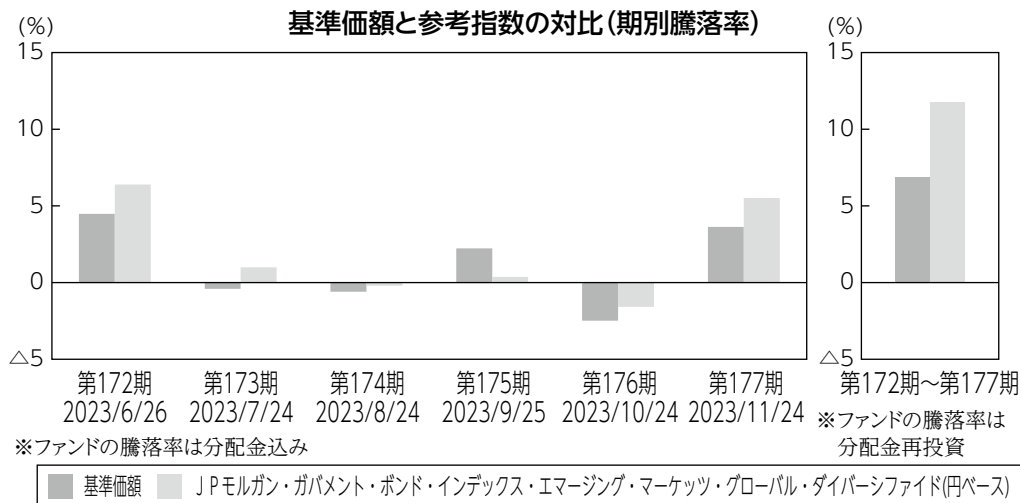
### 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建（ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド）で取得時においてA a a格相当の格付を取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首1.0年でしたが、作成期末には1.7年としました。

### 豪ドル債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a格相当の格付を取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首1.6年でしたが、作成期末には1.1年としました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

上記グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当作成期の基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率は+6.9%となり、参考指数の騰落率は+11.8%となりました。



## ■ 分配金

当ファンドの収益分配金は基準価額水準等を勘案して1万口当たり次表のとおりとさせていただきます。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
	2023年5月25日～ 2023年6月26日	2023年6月27日～ 2023年7月24日	2023年7月25日～ 2023年8月24日	2023年8月25日～ 2023年9月25日	2023年9月26日～ 2023年10月24日	2023年10月25日～ 2023年11月24日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	0.339	0.341	0.344	0.338	0.348	0.337
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	347	359	375	398	416	438

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

引き続き、新興国通貨建国際機関債マザーファンド、豪ドル債マザーファンドを通じて世界の国際機関債等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行う方針です。両マザーファンドへの投資比率合計を高位に保つ方針です。

### 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率を高位に維持しつつ、国際機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

### 豪ドル債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、欧州投資銀行、欧州復興開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	第172期～第177期		項目の概要
	2023年5月25日～2023年11月24日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	27円	0.608%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は4,358円です。
(投信会社)	(12)	(0.277)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(13)	(0.304)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.028)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.023	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	28	0.631	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

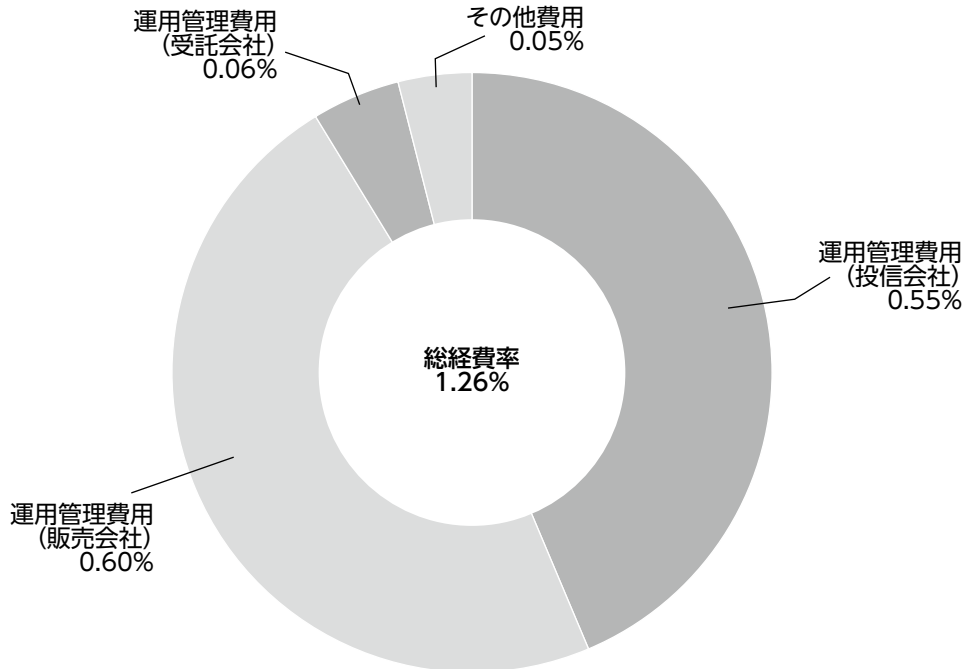
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報) 総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ◎売買及び取引の状況(2023年5月25日～2023年11月24日)

○親投資信託の設定、解約状況

	第 172 期 ～ 第 177 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 57,989	千円 110,000
豪ドル債マザーファンド	—	—	9,705	25,000

(注)単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2023年5月25日～2023年11月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○親投資信託残高

種 類	第29作成期末	第30作成期末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 454,598	千口 396,609	千円 771,801
豪ドル債マザーファンド	82,243	72,538	194,315

(注1)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2)新興国通貨建国際機関債マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(396,609千口)です。

(注3)豪ドル債マザーファンド全体の当作成期末受益権口数は(72,538千口)です。

## ◎投資信託財産の構成

2023年11月24日現在

項 目	第 30 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	771,801	76.7
豪ドル債マザーファンド	194,315	19.3
コール・ローン等、その他	40,113	4.0
投資信託財産総額	1,006,229	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 新興国通貨建国際機関債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(764,829千円)の投資信託財産総額(771,795千円)に対する比率は99.1%です。

(注3) 豪ドル債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(190,955千円)の投資信託財産総額(194,317千円)に対する比率は98.3%です。

(注4) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=8.7141円、1ブラジルレアル=30.4849円、1トルコリラ=5.1851円、1オーストラリアドル=98.25円、1南アフリカランド=7.96円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年6月26日現在 2023年7月24日現在 2023年8月24日現在 2023年9月25日現在 2023年10月24日現在 2023年11月24日現在

項 目	第172期末	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末
(A) 資 産	1,089,126,927円	1,056,371,420円	1,035,473,113円	1,044,236,084円	981,069,250円	1,006,229,631円
コール・ローン等	45,846,062	36,384,484	35,793,668	35,374,536	36,316,373	40,112,122
新興国通貨建国際機関債マザーファンド(評価額)	837,197,719	818,926,010	800,490,857	810,470,702	757,277,295	771,801,553
豪ドル債マザーファンド(評価額)	206,083,146	201,060,926	199,188,588	198,390,846	187,475,582	194,315,956
(B) 負 債	11,376,332	4,618,413	4,628,600	7,030,621	5,146,327	6,367,455
未払収益分配金	3,662,011	3,600,054	3,562,324	3,517,637	3,405,664	3,378,737
未払解約金	6,541,241	34,657	7	2,412,257	793,297	1,959,627
未払信託報酬	1,167,566	979,161	1,061,358	1,095,660	942,960	1,024,332
未払利息	125	99	98	96	107	112
その他未払費用	5,389	4,442	4,813	4,971	4,299	4,647
(C) 純資産総額(A-B)	1,077,750,595	1,051,753,007	1,030,844,513	1,037,205,463	975,922,923	999,862,176
元 本	2,441,340,959	2,400,036,357	2,374,883,286	2,345,091,741	2,270,442,938	2,252,491,979
次期繰越損益金	△1,363,590,364	△1,348,283,350	△1,344,038,773	△1,307,886,278	△1,294,520,015	△1,252,629,803
(D) 受益権総口数	2,441,340,959口	2,400,036,357口	2,374,883,286口	2,345,091,741口	2,270,442,938口	2,252,491,979口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,415円	4,382円	4,341円	4,423円	4,298円	4,439円

(注1) 当ファンドの第172期の元本額は2,495,198,048円、第172～177期中追加設定元本額は23,365,139円、第172～177期中一部解約元本額は266,071,208円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第172期0.4415円、第173期0.4382円、第174期0.4341円、第175期0.4423円、第176期0.4298円、第177期0.4439円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第172期1,363,590,364円、第173期1,348,283,350円、第174期1,344,038,773円、第175期1,307,886,278円、第176期1,294,520,015円、第177期1,252,629,803円です。

## ◎損益の状況

項 目	〔自 2023年5月25日 至 2023年6月26日〕	〔自 2023年6月27日 至 2023年7月24日〕	〔自 2023年7月25日 至 2023年8月24日〕	〔自 2023年8月25日 至 2023年9月25日〕	〔自 2023年9月26日 至 2023年10月24日〕	〔自 2023年10月25日 至 2023年11月24日〕
	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
(A) 配 当 等 収 益	△ 2,538円	△ 2,100円	△ 2,178円	△ 2,173円	△ 2,309円	△ 2,621円
支 払 利 息	△ 2,538	△ 2,100	△ 2,178	△ 2,173	△ 2,309	△ 2,621
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	47,509,240	△ 3,172,944	△ 5,250,463	23,900,014	△ 23,899,922	36,055,115
売 買 益	48,378,727	173,133	68,075	24,182,056	205,673	36,364,713
売 買 損	△ 869,487	△ 3,346,077	△ 5,318,538	△ 282,042	△ 24,105,595	△ 309,598
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,172,958	△ 983,603	△ 1,066,171	△ 1,100,631	△ 947,304	△ 1,028,979
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	46,333,744	△ 4,158,647	△ 6,318,812	22,797,210	△ 24,849,535	35,023,515
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 733,294,076	△ 678,080,723	△ 677,513,857	△ 677,130,715	△ 635,888,288	△ 658,165,094
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 672,968,021	△ 662,443,926	△ 656,643,780	△ 650,035,136	△ 630,376,528	△ 626,109,487
(配 当 等 相 当 額)	( 21,487,674)	( 21,211,541)	( 21,100,234)	( 21,006,091)	( 20,462,746)	( 20,386,345)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 694,455,695)	(△ 683,655,467)	(△ 677,744,014)	(△ 671,041,227)	(△ 650,839,274)	(△ 646,495,832)
(G) 計 (D+E+F)	△ 1,359,928,353	△ 1,344,683,296	△ 1,340,476,449	△ 1,304,368,641	△ 1,291,114,351	△ 1,249,251,066
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,662,011	△ 3,600,054	△ 3,662,324	△ 3,517,637	△ 3,405,664	△ 3,378,737
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 1,363,590,364	△ 1,348,283,350	△ 1,344,038,773	△ 1,307,886,278	△ 1,294,520,015	△ 1,252,629,803
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 672,968,021	△ 662,443,926	△ 656,643,780	△ 650,035,136	△ 630,376,528	△ 626,109,487
(配 当 等 相 当 額)	( 21,496,542)	( 21,214,816)	( 21,108,052)	( 21,019,173)	( 20,467,132)	( 20,390,740)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 694,464,563)	(△ 683,658,742)	(△ 677,751,832)	(△ 671,054,309)	(△ 650,843,660)	(△ 646,500,227)
分 配 準 備 積 立 金	63,419,354	64,962,642	68,160,714	72,544,817	73,993,918	78,398,353
繰 越 損 益 金	△ 754,041,697	△ 750,802,066	△ 755,555,707	△ 730,395,959	△ 738,137,405	△ 704,918,669

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第172期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,460,552円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(21,496,542円)および分配準備積立金(58,620,813円)より分配対象収益は88,577,907円(10,000口当たり362円)であり、うち3,662,011円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第173期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,295,030円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(21,214,816円)および分配準備積立金(62,267,666円)より分配対象収益は89,777,512円(10,000口当たり374円)であり、うち3,600,054円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第174期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,548,993円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(21,108,052円)および分配準備積立金(64,174,045円)より分配対象収益は92,831,090円(10,000口当たり390円)であり、うち3,562,324円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第175期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,919,527円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(21,019,173円)および分配準備積立金(67,142,927円)より分配対象収益は97,081,627円(10,000口当たり413円)であり、うち3,517,637円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第176期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,276,728円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(20,467,132円)および分配準備積立金(70,122,854円)より分配対象収益は97,866,714円(10,000口当たり431円)であり、うち3,405,664円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第177期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,449,241円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(20,390,740円)および分配準備積立金(73,327,849円)より分配対象収益は102,167,830円(10,000口当たり453円)であり、うち3,378,737円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

## ◎収益分配金のお知らせ

決 算 期	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
1万口当たりの分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

## ※分配金をお支払いする場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

## ※分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

## 課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

# 新興国通貨建国際機関債マザーファンド

## 運用報告書

第15期

(決算日 2023年11月24日)

「新興国通貨建国際機関債マザーファンド」は、2023年11月24日に第15期決算を行いました。  
以下、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。



## ◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	債組比	券入率	純資産額
	円	騰落率 %				
(第11期) 2019年11月25日	15,845	5.0	277.82	7.3	95.5	百万円 1,467
(第12期) 2020年11月24日	13,972	△11.8	272.97	△ 1.7	96.2	1,134
(第13期) 2021年11月24日	13,949	△ 0.2	280.16	2.6	92.7	904
(第14期) 2022年11月24日	17,461	25.2	295.94	5.6	95.8	858
(第15期) 2023年11月24日	19,460	11.4	356.02	20.3	97.5	771

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注2) J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド)は J . P . M o r g a n S e c u r i t i e s L L C ( J P モルガン)が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を採用しております。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	債組比	券入率
	円	騰落率 %			
(期首)2022年11月24日	17,461	—	295.94	—	95.8
11月末	17,601	0.8	295.99	0.0	95.8
12月末	16,867	△ 3.4	291.68	△ 1.4	95.3
2023年 1月末	17,048	△ 2.4	298.22	0.8	95.6
2月末	17,800	1.9	301.26	1.8	87.3
3月末	17,774	1.8	304.67	2.9	97.1
4月末	17,864	2.3	310.59	5.0	96.7
5月末	18,101	3.7	320.64	8.3	96.2
6月末	19,003	8.8	340.44	15.0	96.7
7月末	19,105	9.4	340.29	15.0	96.3
8月末	19,254	10.3	346.51	17.1	97.1
9月末	18,897	8.2	338.01	14.2	98.2
10月末	18,762	7.5	338.62	14.4	97.8
(期末)2023年11月24日	19,460	11.4	356.02	20.3	97.5

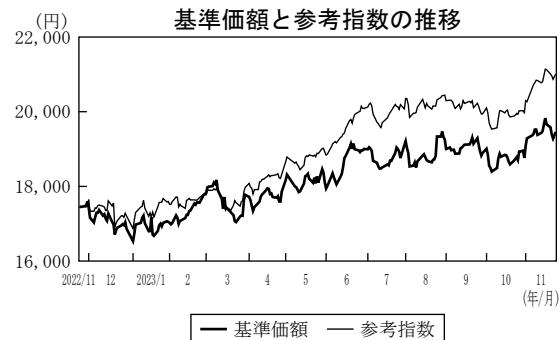
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

## ◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2022年11月25日～2023年11月24日)

## 1 基準価額

## 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首17,461円で始まり、期末19,460円で終わりました。騰落率は+11.4%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・インフレ指標の高進を背景に、主要な新興国の中央銀行が政策金利を積極的に引き上げる一方で、日銀が金融緩和策を維持する姿勢を示したことで、新興国と日本との金利差が拡大するとの見通しの強まりから、メキシコペソおよびブラジルレアルが円に対して上昇したこと

## (下落要因)

- ・トルコにおいてインフレ指標が高進するにもかかわらず、中央銀行が実質金利の水準をマイナスとなるような緩和的な水準で政策金利を調節するといった独特な金融政策を維持したことなどをを受けて、トルコリラが円に対して下落したこと

## 2 運用経過

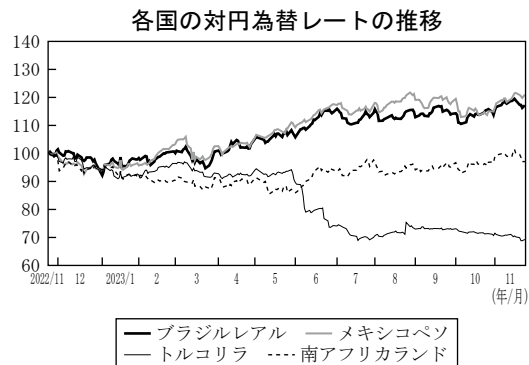
## 運用概況

期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建(ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド)で取得時においてA a a相当格の格付を取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように、欧州投資銀行、国際復興開発銀行、欧州復興開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

## 【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	95.8%	97.5%
経過利息、現金等その他	4.2%	2.5%
組入銘柄数	10	10
デュレーション	0.9年	1.6年
残存年数	1.0年	1.7年
複利最終利回り	16.0%	14.1%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用



※各国の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値等)は期首を100として指数化したものです。

### 3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国債機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年11月25日～2023年11月24日		
	金額	比率	
(a) その他費用	6円	0.035%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は18,173円です。
(保管費用)	(6)	(0.034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	6	0.035	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況(2022年11月25日～2023年11月24日)

## ○公社債

			買付額	売付額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ 16,071	千メキシコペソ 23,232
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル 3,418	千ブラジルリアル 6,040
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 43,617	千トルコリラ 38,849
国	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 15,131	千南アフリカランド 6,601 (9,950)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ◎利害関係人との取引状況等(2022年11月25日～2023年11月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 30,200	千メキシコペソ 23,717	千円 206,673	% 26.8	% —	% —	% 18.4	% 8.4
ブ ラ ジ ル	千ブラジルリアル 6,600	千ブラジルリアル 5,942	181,165	23.5	—	—	13.8	9.6
ト ル コ	千トルコリラ 52,000	千トルコリラ 36,089	187,127	24.2	—	—	7.1	17.2
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 22,300	千南アフリカランド 22,283	177,377	23.0	—	—	4.1	18.9
合 計	—	—	752,344	97.5	—	—	43.4	54.1

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)－印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名		種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(メキシコ)			%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	EUROPEAN INVT BK 4.25%	特殊債券 (除く金融債)	4.25	7,700	7,418	64,642	2024/ 6/19
	INT BK RECON&DEV 0%		—	22,500	16,299	142,031	2027/ 3/13
小計						206,673	
(ブラジル)				千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	EUROPEAN INVT BK 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	2,800	2,443	74,474	2025/ 6/12
	INT BK RECON&DEV 5%		5.0	3,800	3,499	106,691	2026/ 1/22
小計						181,165	
(トルコ)				千トルコリラ	千トルコリラ		
	EURO BK RECON&DV 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	24,000	17,970	93,177	2024/ 9/18
	EURO BK RECON&DV 0%		—	20,000	10,519	54,543	2026/ 1/26
	EURO BK RECON&DV 8.5%		8.5	8,000	7,600	39,406	2024/ 2/14
小計						187,127	
(南アフリカ)				千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	EUROPEAN INVT BK 8.5%	特殊債券 (除く金融債)	8.5	7,300	7,295	58,069	2024/ 9/17
	EUROPEAN INVT BK 8.75%		8.75	11,000	11,000	87,560	2025/ 8/18
	INT BK RECON&DEV 8.25%		8.25	4,000	3,988	31,747	2026/12/21
小計						177,377	
合計						752,344	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「EURO BK RECON&DV」は「欧州復興開発銀行」です。

## ◎投資信託財産の構成

2023年11月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	752,344	97.5
コール・ローン等、その他	19,451	2.5
投資信託財産総額	771,795	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(764,829千円)の投資信託財産総額(771,795千円)に対する比率は99.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=8.7141円、1ブラジルレアル=30.4849円、1トルコリラ=5.1851円、1南アフリカランド=7.96円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年11月24日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	771,795,933
コール・ローン等	△ 9,114,918
公 社 債(評価額)	752,344,312
未 収 入 金	15,955,569
未 収 利 息	8,961,574
前 払 費 用	3,649,396
(B) 負 債	18
未 払 利 息	18
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	771,795,915
元 本	396,609,226
次 期 繰 越 損 益 金	375,186,689
(D) 受 益 権 総 口 数	396,609,226口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,460円

## ◎損益の状況

自 2022年11月25日  
至 2023年11月24日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	89,005,281
受 取 利 息	89,008,387
支 払 利 息	△ 3,106
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 851,131
売 買 益	107,551,817
売 買 損	△108,402,948
(C) 信 託 報 酬 等	△ 285,950
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	87,868,200
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	367,014,730
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 79,696,241
(G) 計 (D+E+F)	375,186,689
次 期 繰 越 損 益 金(G)	375,186,689

(注1) 当親ファンドの期首元本額は491,912,985円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は95,303,759円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)396,609,226円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.9460円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# 豪ドル債マザーファンド

## 運用報告書

第15期

(決算日 2023年11月24日)

「豪ドル債マザーファンド」は、2023年11月24日に第15期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。



## ◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組比	券入率	純資産額
	円	騰落率 %		騰落率 %			
(第11期) 2019年11月25日	20,007	△4.2	323.44	1.8	97.7	%	百万円 361
(第12期) 2020年11月24日	21,242	6.2	344.99	6.7	97.3	%	282
(第13期) 2021年11月24日	22,736	7.0	357.24	3.6	97.6	%	239
(第14期) 2022年11月24日	24,853	9.3	365.78	2.4	97.6	%	214
(第15期) 2023年11月24日	26,788	7.8	376.54	2.9	97.1	%	194

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

(注2)FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組比	券入率
	円	騰落率 %		騰落率 %		
(期首)2022年11月24日	24,853	—	365.78	—	97.6	%
11月末	24,613	△1.0	362.10	△1.0	97.5	%
12月末	23,766	△4.4	341.22	△6.7	96.9	%
2023年 1月末	24,568	△1.1	362.45	△0.9	96.6	%
2月末	24,452	△1.6	354.82	△3.0	98.7	%
3月末	24,165	△2.8	360.02	△1.6	98.3	%
4月末	24,036	△3.3	357.31	△2.3	98.0	%
5月末	24,544	△1.2	358.71	△1.9	97.7	%
6月末	25,701	3.4	372.44	1.8	97.4	%
7月末	25,346	2.0	363.67	△0.6	97.6	%
8月末	25,709	3.4	368.19	0.7	97.3	%
9月末	26,081	4.9	365.98	0.1	97.6	%
10月末	25,866	4.1	355.25	△2.9	97.3	%
(期末)2023年11月24日	26,788	7.8	376.54	2.9	97.1	%

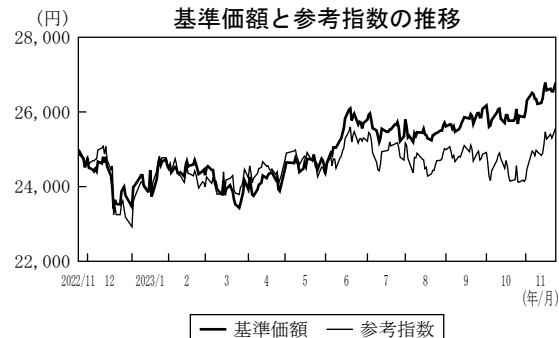
(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

## ◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2022年11月25日～2023年11月24日)

## 1 基準価額

## 基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首24,853円で始まり、期末26,788円で終わりました。騰落率は+7.8%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

## (上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・インフレ指標の高進を背景に、オーストラリア準備銀行(中央銀行)が政策金利の引き上げを実施したことや、期末にかけて追加利上げ期待が高まったことなどを受けて、日本円との金利差が拡大するとの見通しが強まったことから、主に当期の後半に豪ドルが円に対して上昇したこと

## (下落要因)

- ・インフレ高進を受けて、中央銀行が政策金利の引き上げを実施したことや期末にかけて追加利上げ期待が高まったことなどを受けて、主に当期の後半に金利が上昇(債券価格は下落)したこと

## 2 運用経過

## 運用概況

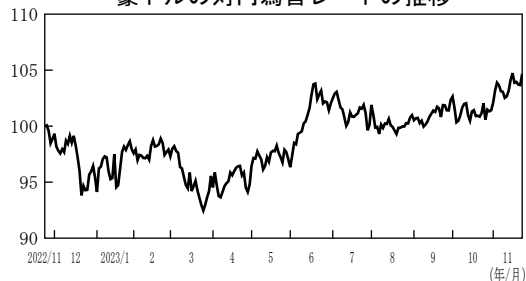
期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a相当格の格付を取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。当期においては、国際復興開発銀行、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、欧州投資銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

## 【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	97.6%	97.1%
経過利息、現金等その他	2.4%	2.9%
組入銘柄数	4	4
デュレーション	2.0年	1.1年
残存年数	2.1年	1.2年
複利最終利回り	4.0%	4.8%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

## 豪ドルの対円為替レートの推移



※上記通貨の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)は期首を100として指数化したものです。

### 3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、欧州投資銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年11月25日～2023年11月24日		
	金額	比率	
(a) その他費用	10円	0.040%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は24,903円です。
(保管費用)	( 9)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	( 1)	(0.004)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	10	0.040	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ◎売買及び取引の状況(2022年11月25日～2023年11月24日)

## ○公社債

			買付額	売付額
外国	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル —	千オーストラリアドル 291

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ◎利害関係人との取引状況等(2022年11月25日～2023年11月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

## ○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,940	千オーストラリアドル 1,920	千円 188,659	% 97.1	% —	% —	% 9.3	% 87.8
合 計	1,940	1,920	188,659	97.1	—	—	9.3	87.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) —印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
				末		
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
AFRICAN DEV BANK 4%	特殊債券 (除く金融債)	4.0	500	494	48,620	2025/ 1/10
ASIAN DEV BANK 3.75%		3.75	690	681	66,976	2025/ 3/12
EUROPEAN INVT BK 4.75%		4.75	560	560	55,025	2024/ 8/ 7
INT BK RECON&DEV 2.9%		2.9	190	183	18,037	2025/11/26
合 計					188,659	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「AFRICAN DEV BANK」は「アフリカ開発銀行」・「ASIAN DEV BANK」は「アジア開発銀行」・「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」です。

## ◎投資信託財産の構成

2023年11月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	188,659	97.1
コール・ローン等、その他	5,658	2.9
投資信託財産総額	194,317	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(190,955千円)の投資信託財産総額(194,317千円)に対する比率は98.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=98.25円です。

## ◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年11月24日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	194,317,179
コール・ローン等	3,361,254
公社債(評価額)	188,659,782
未 収 利 息	2,296,143
(B) 負 債	9
未 払 利 息	9
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	194,317,170
元 本	72,538,434
次 期 繰 越 損 益 金	121,778,736
(D) 受 益 権 総 口 数	72,538,434口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,788円

## ◎損益の状況

自 2022年11月25日  
至 2023年11月24日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	8,479,523
受 取 利 息	8,480,559
支 払 利 息	△ 1,036
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	6,277,905
売 買 益	8,633,962
売 買 損	△ 2,356,057
(C) 信 託 報 酬 等	△ 80,626
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	14,676,802
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	128,277,576
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 21,175,642
(G) 計 (D + E + F)	121,778,736
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	121,778,736

(注1) 当親ファンドの期首元本額は86,362,792円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は13,824,358円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)72,538,434円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2.6788円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。